

三等重役（1952）

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 98分

初公開日 1952/05/29

【解説】

源氏鶏太の人気サラリーマン小説を、山本嘉次郎と井手俊郎が脚色し春原政久が監督した。映画はヒット、このあと続々と「三等重役」シリーズが製作された。また人事課長を演じた森繁久彌も人気を博した。

南海産業の前社長だった奈良が追放されたことにより、桑原は社長の座に着いた。いわゆる“三等重役”である。奈良の社長復帰は、本人が脳溢血で倒れたため困難となってしまった。ほっと胸をなで下ろす桑原。社長夫人は新しい着物を着たいため、社内結婚奨励の回覧板を作成するなど、やりたい放題。桑原は東京へ出張することになったが、前社長が世話していたお鶴を同行しなければならなくなり、人事課長の浦島も連れて行くことにした。

【クレジット】

監督 春原政久

製作 藤本真澄

原作 源氏鶏太

脚本 山本嘉次郎

井手俊郎

撮影 玉井正夫

美術 北川恵筈

音楽 松井八郎

出演	小川虎之助	奈良前社長
	三好栄子	夫人・とり子
	関千恵子	娘・由起子
	河村黎吉	桑原社長
	沢村貞子	夫人・千里
	井上大助	息子・大助
	森繁久彌	浦島人事課長
	千石規子	浦島夫人
	小林桂樹	若原
	島秋子	久保青子
	大泉滉	村尾
	木匠久美子	木原トキ子
	清水一郎	高野営業部長
	荒木道子	高野夫人
	村上冬樹	千葉庶務課長
	高堂国典	勝田頭取

城正彦	息子・亮助
坪内美子	お鶴
進藤英太郎	藤山社長
岡村文子	夫人・京子
藤間紫	おこま
小野文春	田口出張所長
越路吹雪	道子
野田幸信	給士・大山太郎
清川玉枝	「久の家」のお内儀